

としょかんの広場

編集者が語る子どもの本ができるまで
～絵本、読みもの、ノンフィクションの出版～

中央図書館では2月5日に講座『子どもの本ができるまで』を開催しました。講師は数々の絵本や習志野高校吹奏楽部について書かれた物語『美爆音!ぼくらの青春シンフォニー』（オザワ部長/著）の編集を手がけられた岩崎書店の山田裕子さんです。

習志野市在住で2児の母でもある山田さん。
寝る前に絵本を読んでもらっていた幼少期から、本のすばらしさに育まれ、本をつくるお仕事を目指すようになりました。児童書の編集者は狭き門、印刷会社や広報のお仕事を経て、ご自分の夢をあきらめずに、岩崎書店へ入られたそうです。
今回は一冊の本がどのようにしてできるのかを、スライドを見ながら、ご自身の体験を交えつつ、お話してくださいました。



岩崎書店のキャッチコピー「この一冊が未来をつくる」は山田さんの案が採用されたそうです。

本を作るには、まず企画を立て企画会議にはかります。その企画が採用されると、執筆（文章・絵）を作家さんに依頼します。本の中身ができたら、次はイラストをどこに入れるか、表紙はどういったデザインにするかなどを決めます。



貴重な原画やカバーラフ（表紙の見本）などを見せていただきました。

イラストをどの部分に入れるかを定めることは非常に大事で、なるべく早い段階で入れるとイメージを作りやすかったり、想像で読んでほしい時はあえて入れないこともあるそう。児童書だと、対象の年齢に合わせてルビ（ふりがな）をふりますが、多すぎると読みづらいので、「漢字の閉じ開き」を行います。これは、あらかじめ本に出てくる言葉に漢字を使うのか（閉じ）、使わないのか（開き）ルールを決める作業です。

表紙のデザインは、いくつかのパターンで作ってもらったものの中から、仕上がり想像しながら検討・修正をくり返し、決定したら、印刷・製本をして、やっと完成です。

企画から完成まで、数年かかる場合もあるので、常にいくつかの本の制作に関わっているとのことです。

習志野高校吹奏楽部の活躍を描いた『美爆音!ぼくらの青春シンフォニー』が生まれたきっかけは、お子さんが小学生の時に吹奏楽部に入り、習志野高校の3年生が指導する管楽器講座に行ったことで、そこから、吹奏楽部の先生方のお話を聞く機会もあり、部活動の素晴らしさを伝えたいとの想いから、本を作りたいと決意されたそうです。

イラストも実際の立ち位置やドラムの方がつけるバンドの色など、細部に至るまでこだわったとのこと。

参加された方々の満足度も高く、「とても参考になるお話を聞いて良かったです」「講師の編集にかかわる思いが伝わりました!」「刺激的な2時間でした」「非常にわかりやすかった。誠実な方ですね」と感想をいただきました。



お話の後にはたくさんの質問もあり、活気のある講座になりました。

Topic News

蔵書点検が終わりました

1/11(水)から14(土)まで中央図書館では蔵書点検が行われました。蔵書点検とは、本が本来の場所に置いてあるか、所在不明になっている本はないかを点検する作業です。これを行うことで、本が元通りの位置に戻るため、探されている本が確実に提供できるようになります。

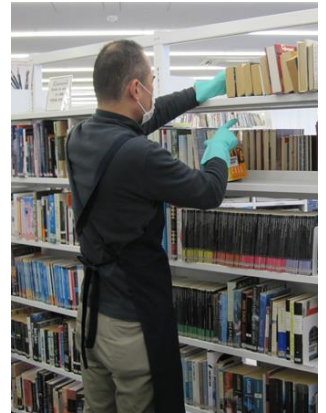
中央図書館には、17万5千冊ほど蔵書がありますが(令和4年3月末時点)その中から、貸出中と予約中を除いたすべての本の所在を確認し、整理しました。休館中は皆様にご不便をおかけしましたが、ご協力ありがとうございました。



ICリーダーで本の情報を1冊ずつ読み取ります。



普段掃除できないところも、綺麗にします。奥から本が見つかることもあります。



みんなの「思い出の絵本」エピソード

「思い出の絵本」エピソードの中から

子どもの時に、『ぐりとぐら』の絵本を読んでもらって大きなカステラがおいしそうで、本からもおいしそうな感触が伝わる感覚を覚えています。

母におねだりして、代わりにホットケーキを焼いてもらいました。(60代)

昨年、市立図書館ではみなさまの思い出の絵本を募集いたしました。

ホームページで公開している他、中央図書館では3階通路に掲示していますので、図書館にいらした時はぜひご覧ください。

印象的だったのは、幅広い年代で『ぐりとぐら』のエピソードを書いて下さっている方がいらしたことです。中川李枝子さんと山脇(大村)百合子さんの姉妹で作ったこの作品は、今年60周年を迎えるそうです。

また、昔読んだ絵本のタイトルが思い出せない方は、カウンター職員までお声がけください。探すお手伝いをさせていただきます。

中央図書館カレンダー(色の付いた日が休館日です)

令和5年(2023年)3月							令和5年(2023年)4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3☆	4							1
5	6○	7	8	9	10	11	2	3○	4	5	6	7	8
12	13○	14	15	16	17	18	9	10○	11	12	13	14	15
19	20○	21	22	23	24	25	16	17○	18	19	20	21	22
26	27○	28	29	30	31		23	24○	25	26	27	28	29
							30	31○					

○の付いた日：全館休館日

☆の付いた日：東習志野・新習志野・谷津は図書整理日のため休館(中央図書館は開館)

★編集後記★

蔵書点検が終わった後、来館された方から「いっぱいお休みできた?」と聞かれることがありますが、実際は一年で一番ハードな作業をしている期間なんです。年末の大掃除の気分と似ていて、終わると、ほっと一安心です。



中央図書館報 としょかんの広場
第17号(通巻101号)

発行日：令和5年3月1日

編集・発行：習志野市立中央図書館

電話：047-475-3213

<https://www.narashino-lib.jp>

